

入院から退院までの予定表

※ この予定表は、おおその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますので、ご了承ください。なお、わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

様

性別：男性 ・ 女性

患者番号：

主治医：

	月 日	月 日- 月 日	月 日	月 日(手術当日)		月 日	月 日	月 日	6-9病日
	入院当日	手術準備期	手術前日	手術前	手術後	1病日	2病日	3-5病日	
普通の経過	手術の準備が整います。			手術を受ける事ができます。	覚醒後傷の痛みが予想されます。 鎮痛剤がありますので申し出して下さい 体温、血圧、脈拍、呼吸状態が安定します。	酸素吸入が中止となります。 傷の痛みがスケール0~2以下で経過し、病棟内歩行ができます。 食事を食べる事ができます		胸の管が抜けます 徐々に手術前の状態に戻ります。	経過が良好ならば全抜糸前の退院も可能です
診察	医師	医師	医師 麻酔科医師から全身麻酔について説明があります(手術が月曜日の時は金曜日)	医師 朝手術を行う側の手に印を付けます	医師		手術の翌日、その後月・水・金とガーゼ交換があります 毎日診察があります。金曜日は回診もあります		医師
処置投薬	胸部レントゲン、心電図、採血があります		21時に下剤を内服します。 眠れないときは薬があります	着替えと両下腿にストッキングをします。 8時過ぎから点滴を開始します(ただし指示のある方のみ)	手術室に入室後、背中に麻酔の細い管が入ります 胸部レントゲン、採血があります。 鼻からチューブの酸素をします、胸に心電図モニターをつけます	胸部レントゲン、採血があります。 酸素濃度が良ければ酸素吸入を中止します。 心電図モニター、尿道カテーテルをはずします。	2病日目に背中の麻酔チューブを抜きます。	空気漏れが無くなれば胸の管を抜きます。	7, 8病日で傷の抜糸を行います
説明指導	手術予定の説明、入院オリエンテーション、食事について説明	手術の説明があります。 呼吸リハビリから説明・指導があります	栄養指導があります	時 分に病棟をでます。 手術は 時 分に始まり約 時間かかります。	時 分に病棟に入ります 帰室は 時 分頃になります	鎮痛剤の内服を開始します 薬剤師から薬の説明があります。	術前のように歩く事ができればストッキングを脱ぎます。看護師に相談してください。		抜管後経過良好ならば退院できます。 退院後の説明があります。 術後2ヶ月は重い物を持つことは出来ません
排泄		制限はありません			麻酔後尿道にカテーテルが入ります	尿道カテーテルが抜けます (指示ある方は蓄尿があります)	制限はありません		
安静		制限はありません		歩いて手術室へ行きます	手術後は翌朝までベッド上安静となります	トイレ歩行が可能です。(胸に管が入ったままの状態です)	病棟内歩行が可能です	特に制限はありません	
食事	普通食です	21時以降食べる事はできません。飲水は可能です。	指定された時間まで飲水出来ます。	手術4時間後より水分は可能です		昼からお粥になります	2病日朝から普通食になります		
保清	入浴できます	入浴できます 剃毛をします 手術が午前→前日夜 手術が午後→当日午前				朝蒸しタオルで看護師が体を拭きます	タオルを渡すので体を拭いて下さい	抜管後全身シャワーできます	